

記載内容は変更されることがあります

科目名	ソフトウェア工学 I	英語科目名	Software Engineering I	
開講年度・学期	平成 27 年度・前期	対象学科・専攻・学年	電子制御工学科 4 年	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修	
単位数	1 単位	単位種類	履修単位 30h	
担当教員	南斉清巳	居室（もしくは所属）	電子制御工学科棟 3 階	
電話	内線 257	E-mail	nansai@小山高専ドメイン	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
	1. OS の役割を説明できること	④ ⑤	AO, B	d-1
	2. UNIX の基本操作ができること	④ ⑤	AO, B	d-1
	3. ファイルシステムの説明ができること	④ ⑤	AO, B	d-1
	4. シェルの仕組みを理解し、シェルプログラムが組めること	④ ⑤	AO, B	d-1
5. システムの管理が行えること	④ ⑤	AO, B	d-1	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
中間試験、定期試験の成績および課題や提出物によって評価する。				
評価方法				
評価は下記の 2 項目による				
1. 中間試験および定期試験の成績を 70%				
2. 課題や提出物の成績を 30%				
授業内容				
1. UNIX とは・・・UNIX の歴史と、OS の役割				
2. UNIX の基本操作・・・システムの起動と停止、ログインとログアウトおよび基本コマンド				
3. UNIX のファイルシステム・・・ファイルとディレクトリ構造				
4. ファイルシステムのパーミッション				
5. シェルの仕組みと操作・・・シェル変数と環境変数、ワイルドカード、vi エディタ				
6. パイプライン処理とフィルタの活用・・・grep, sed と正規表現				
7. アプリケーションのインストールと設定・・・アプリケーションのインストール方法、ネットワーク設定				
8. システムの管理・・・ファイルとディスクの管理、ユーザの管理、システムの稼働状態の管理				
キーワード	Unix、Linux、OS、シェル			
教科書	林晴比古「新 Linux/UNIX 入門」第 3 版 ソフトバンクパブリッシング (2000)			
参考書	1. 岩田靖史「e ラーニングで始める Linux 入門」日経 BP 社 2. 大津真「Red Hat Linux による UNIX 入門」日経 BP 社 3. Brian W. Kernighan, Rob Pike 著, 石田晴久監訳 「UNIX プログラミング環境」アスキー出版			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	コンピューター基礎、コンピューター、プログラム I, II, III, IV			
現学年の関連科目	ソフトウェア工学 II			
次年度以降の関連科目	ソフトウェア工学 III、情報工学			
連絡事項				
1. 授業では講義と並行して実習を行いますので知識としてではなく技術として身につけてください。				
2. 実習では UNIX 互換 OS である Linux を使用します。				
3. 自分でパソコンを持っている者は、HDD にインストールしなくても使用できる、CD 起動の Linux の利用を勧めます。				
4. インターネット上にも役に立つ情報がたくさんあります。疑問があった場合は自分で調べてみてください。				
5. Linux 関係の専門雑誌が多数刊行されていますので最新の動向を知りたい場合は読んでみてください。				
6. Linux の資格試験として LPIC がありますので興味があったら挑戦してみてください。				
シラバス作成年月日	平成 27 年 2 月 25 日			